

Mini-WAN

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.229)

三河港湾事務所だより

2026年10月号

中部地方整備局 貫名副局長が衣浦港・三河港を視察

9月14日(月)、中部地方整備局の貫名副局長が三河港湾事務所を視察しました。

午前中は衣浦港を視察し、午後から三河港を訪れました。衣浦港では、海上から木材チップ船や石炭運搬船等が着岸する様子、JERA碧南火力発電所の混焼用アンモニアタンクの整備の様子、広大なポートアイランドの存在感等を目の当たりにされ、衣浦港のバルク港湾としての重要性を確認しました。三河港では、フォルクスワーゲングループジャパンの新車整備工場を見学しました。工場内では、新車保管倉庫や研修室などを視察し、自動車の輸入から出荷までの流れについて理解を深めました。また、物流の効率化や品質管理の取り組みについても説明を受け、自動車物流を支える現場の役割を確認しました。

その後、ポートインフォメーションセンター「カモメリア」の展望台から三河港の広大なモータープールを一望し、自動車物流を支える三河港の役割や、地域産業を支える重要な物流拠点としての機能について説明をしました。あわせて、自動車取扱貨物量が全国でも有数である三河港の特徴について紹介しました。

当日は時折雨が降るあいにくの天候でしたが、中部のものづくり産業を下支えしつつも、それぞれ特徴が異なる衣浦港及び三河港の果たす役割や重要性への理解を深める有意義な視察となりました。



名城大学「海洋環境修復実地研修」を支援しました

8月21日(金)、名城大学の学生・教職員10名による「海洋環境修復実地研修」のお手伝いをしました。この研修は、海洋環境の現状や保全・改善に関する知識を学ぶカリキュラムの一環として実施されているものです。

当日は、当事務所が所有する港湾業務艇「しおさい」に乗船し、三谷漁港を出発。六条潟や大崎地区、田原地区、中山水道航路を巡りながら、愛知県水産試験場へ向かいました。各地点では海水や底質(土砂)の採取が行われ、採取した試料は、水産試験場へ持ち帰られた後、プランクトンの観察などの調査研究に活用されました。

幸い天候にも恵まれ、風も穏やかな絶好の航海日となりました。また、三河湾に生息するイルカの仲間「スナメリ」の姿を見ることもでき、参加した学生たちにとって思い出に残る貴重な体験となりました。



三河港湾事務所ホームページ <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>
三河港湾事務所公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>



みかわこうわん
三河港湾

検索



国土交通省 中部地方整備局
三河港湾事務所
公式Facebookページ



皆さんは、伊良湖岬にある「日出園地（ひいえんち）」（田原市）をご存じでしょうか。

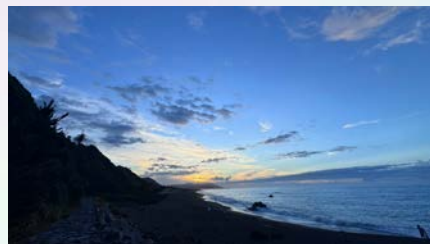
日出園地は、「みなとオアシス伊良湖」を構成する施設の一つで、波の浸食によって生まれた天然の岩門「日出の石門」がある絶景スポットです。朝日との美しい景観で知られ、元旦には初日の出を目当てに多くの人々が訪れます。

先日、私も豊橋駅周辺から車で約1時間かけて日出園地を訪れました。訪れた時期は方位の関係で石門越しの朝日を見ることはできませんでしたが、高台から望む太平洋と朝日に照らされた海の景色は圧巻でした。

おすすめは日の出前後の時間帯です。徐々に明るくなる空と海が織りなす風景は幻想的で、時間とともに変化する色彩を楽しむことができます。また、日出の石門と朝日の景色は秋から冬にかけてが見頃とされ、特に年末年始には多くの人でにぎわいます。

初日の出はもちろん、朝日に染まる海と空が織りなす美しい景色を楽しみたい方は、ぜひ日出園地を訪れてみてはいかがでしょうか。

※元旦の初日の出は、必ずしも日出の石門の中央から昇るわけではありません。



川と海のクリーン大作戦に参加しませんか？



「川と海のクリーン大作戦」は、地域と連携して河川や海岸の清掃活動を行い、水辺の環境保全を目指す取り組みです。今年度は10月25日（日）に実施されます。

長良川の河川敷から始まったこの活動は、今年で28回目を迎えます。昨年度は木曾川水系や三河湾沿岸などで約10,100人が参加し、2トントラック73台分ものごみを回収しました。多くの人の力によって、川や海の美しい環境が守られています。

三河港湾事務所では、10月18日（日）に田原市の西ノ浜で清掃活動を実施します。海岸に漂着したごみは景観を損ねるだけでなく、海の生き物や自然環境にも影響を及ぼします。

この活動の目的は、ごみを拾って水辺をきれいにするだけではなく、ごみのポイ捨てを防ぐ意識を高めるとともに、川や海とふれあうことで、その魅力を再発見することも大切なねらいです。また、住民や企業、各種団体、自治体、河川・海岸管理者が協力しながら活動することで、川づくりや海づくり、さらには地域づくりにつなげていくきっかけにもなっています。

普段何気なく利用している海や川を守るため、できることから始めてみませんか。家族や友人と一緒に参加すれば、地域の自然や環境について考えるよい機会になります。近くにお住まいの方や興味のある方は、ぜひご参加ください。

みなさんの力で、きれいな海と川を未来へつなげていきましょう。

〈川と海のクリーン大作戦HP〉
<https://www.cbr.mlit.go.jp/clean/>



海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル
 おおいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※ 9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
 ※一部の地域を除きます。

国土交通省 中部地方整備局



三河港湾事務所
 〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
 TEL 0532-32-3251

衣浦港事務所
 〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
 TEL 0569-21-2311

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>